

ひろば

— 第197号 —
令和6年10月号



発行：自由ヶ丘地区
コミュニティ運営協議会
住所：自由ヶ丘3-12-11
TEL：32-5594 FAX：35-3250
メール：jyugaoka-cc@oboe.ocn.ne.jp
http://www.jyugaoka-cc.com/

自由ヶ丘人口調査
【令和6年8月31日現在】
世帯数 6,373世帯
人口 14,526人
男性 6,869人
女性 7,657人

本日のメニュー

- ・冷やし中華風そうめん
- ・マカボテサラダ
- ・米粉パン or おにぎり
- ・かき氷
- ・しそジュース

いただき
まーす!!



自由ヶ丘中
9年生

宗像から世界へ発進!

自由ヶ丘中学校9年生141人が、福岡市の老舗チョコレート専門店「チョコレートショップ」、福岡女子大と連携し、宗像市の食材を使った商品開発に取り組んでいます。まず、生徒たちは宗像の食材を調べ、その食材を生かしたチョコレートを検討し、「チョコレートショップ」のシェフに提案。シェフはその中から4つの試作品をつくり、9月2日の授業で試食。最終的に投票で一つの商品に決定しました。

11月13日(水)にJR博多駅で販売を開始します。
ぜひ、お手に取って味わってみてください。



さあ、正式に
販売されるのはどれ
なのか!楽しみ~

「The 子どもおとな食堂」は、みんなの食堂なのだ

夏休みも終わりに近づいた8月18日(日)、コミセンに「The 子どもおとな食堂」が開店しました。春から何度か会議を重ね、みんなが来なくなる食堂になるように、アイデアを出し合いました。

- ☆メニューは、夏らしいものに!
- ☆夏休みの終わりだから宿題持ってきていいよ!
- ☆アレルギーのある人にも対応できたらいいね!
- ☆住民のみなさんには、回覧板でお知らせ
- ☆チラシを作って小中学校の児童生徒に配布
- ☆学校でのチラシ配布時に、インパクトがあるように放送もさせてもらおう!
- ☆経費を抑えるためにフードドライブに挑戦!

*フードドライブとは、家庭で余っている食材を提供していただき、材料として活用すること。



フードドライブでは、そうめん3*、缶詰6缶。そのほか、ジャガイモ、カボチャ、しそ、米、米粉などたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました!

100食
完売!



冷やし中華の麺を、
そうめんに変更!
タレがよくからまって
おいしく



大盛況
大成功



運営協議会

自由ヶ丘地区防災計画、現在進行中!

今、自由ヶ丘地区では「地区防災計画」を作成しているのをご存じですか? 近年、豪雨や大型台風、あるいは地震の多発化などの災害が激化しています。比較的的自然災害の少ない自由ヶ丘地区ですが、私たちの地域でもいつどんな災害に見舞われてもおかしくない状況です。「地区防災計画」は、災害がいつ起こってもあわてないように、事前に準備できることは準備しておこうという計画のことです。

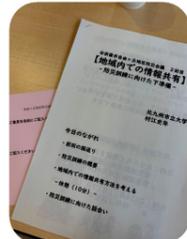
自由ヶ丘地区では、宗像市のバックアップを受けて、北九州市立大学の村江准教授のご指導により、計5回の会議を通して自由ヶ丘地区防災計画を作成します。会議の参加者は各自治会の役員、民生委員、防災士、消防団員など地域の代表者。

7月の第1回会議では、災害に備えての事前準備の大切さを知り、また“命を守る4つのステップ”について教えていただきました(「ひろば8月号」にて既報)。

第2回目となる今回(9月8日(日))は、まず村江准教授の「地域内での情報共有について」の講話により、情報共有の重要ポイントや、他地区での情報共有方法の実例をご紹介いただきました。そのあと、各自治会ごとに分かれて、情報共有の検討ワークショップを展開。自地区の事情に応じたより具体的なアイデアが提案されました。どの参加者も“自分たちの地域は自分たちが守る!”という使命感で真剣そのもの。熱のこもった議論がなされました。その議論に基づき、次回3回目(11月実施予定)は、具体的な防災訓練(情報共有訓練)方法について検討します。



私たちのまちに合う防災計画の作成をしています



シリーズ企画

自由ヶ丘のソコが知りたい! No.2

自由ヶ丘地区
防災士会

こんにちは。自由ヶ丘地区 防災士会です。防災士会は5年前に今後の地域防災の助けになるようにと発足しました。現在16人で活動しています。発足当初は、地域との関わりを増やすような活動と防災啓発から始めました。◎各区会やコミセンの役員向けに、クロスロード(ゲーム形式で、災害時を想定した状況に迅速に対応していく)の研修 ◎発足当初は役員向けでしたが、昨年より夏休み期間中に児童生徒向けの防災センター研修を行い、子どもたちの防災に対する意識向上のサポート などをを行っています。

今後は、地区防災計画に地域のみなさんと一緒に携わっていきます。自由ヶ丘地区は、他の地域と比べても災害は少ないと思われませんが、最近の災害に鑑みると何かあった時のための準備が必要だと考えます。防災士は資格こそ持っていますが、実際の災害現場での経験があるわけではなく、同じ地域に住む一住民として、自分たちのまちを守るお手伝いできればと思います。

最後になりますが、防災は普段からの備えが一番重要になります。防災士会では、日ごろの備えの充実をお手伝いしながら、これからも地域防災に励んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

